

ブックステーション

和白★本の駅

不定期 秋号

Vol.43 2025年10月



10月は図書館マンス

記録的な暑さだった夏がやっと終わり、天高く馬肥ゆる秋がやってきました。秋といえば、読書！そして、福岡市の図書館で秋といえば、「図書館マンス」です！10月恒例のこのイベントは、総合図書館と分館が一つのテーマをもとに様々な展示やイベントを行います。

今年のテーマは「ひろがる図書館」。和白図書館のテーマは「ひろげよう！あなたの世界」です。

この機会に和白図書館や他の図書館にどうぞ足をお運びください。



本の処方箋

～さまざまな悩みに司書がおすすめの本をご紹介します～

症状……食欲の秋です！思わず食べたくなるような美味しい料理が出てくる本ありませんか？

処方箋1：『グリム童話の料理帳』を見て、作って食べて、おはなしを読むのも楽しいかもしれません。(安)

処方箋2：『蕎麦のひみつ』がそばにあるだけでそばが食べたくなるし、そばのすべてがわかる。(大)

処方箋3：『ハロハロ』ってフィリピンのスイーツなんです。名前からハッピーになりそうな料理ですね。(宮)

処方箋4：今が旬！『はちみつ大好き。』でおいしく健康もキレイも手に入りたいですね。(田)

※『』は本のタイトルです。和白図書館にありますよ。



図書館マンス 和白図書館イベントのご案内 【詳細はお尋ねください！】

科学館がやってくる！

～ 空気のカリ ～

目には見えない空気の状態を、空気砲など様々な実験でさぐります！

場所：コミセンわじろ2階
第2会議室

時間：午前10時～(45分程度)

対象：小学3年生から

要申込：定員30名(先着順)

※図書館カウンターか電話で申し込み

ココロとカラダを整える 音読会

みんなで詩や物語の音読をしましょう！

場所：コミセンわじろ2階
第1会議室

時間：午前10時～(1時間程度)

対象：一般

要申込：定員10名(先着順)

※図書館カウンターか電話で申し込み

大人の夜のおはなし会

～ ひろがる物語 ～

「ひろがる」をテーマに、民話や昔話を覚えて語ります。秋の夜長にあなたをお話の世界にいざないます。

場所：和白図書館

時間：午後7時～(1時間程度)

対象：18歳以上

要申込：定員20名(先着順)

※図書館カウンターか電話で申し込み

各駅停車 ～「期間限定 中央図書館の本コーナー」駅～

福岡市の分館の一つ「中央図書館」が、大規模改修工事のため、2027年夏ごろ(予定)まで長期休館となります。

そこで、休館中の中央図書館の所蔵本をできるだけ市民の皆様に活用していただけるよう、その一部を特別に期間限定で市内の分館で貸し出しすることになりました。

和白図書館では、和田はつ子「ゆめ姫事件帖」、倉阪鬼一郎「小料理のどか屋人情帖」、聖龍人「夜逃げ若殿捕物断」など、シリーズの時代小説を数多く揃えております。

印に青いマスキングテープをつけ、雑誌棚の向かい側、掲示板の下にある棚に並べています。この機会にぜひ手に取ってご覧ください。



思い出のおやつはありますか？

『ライオンのおやつ』

小川 糸 / 著

ポプラ社 2019.10

ISBN：4-591-16002-2

小説

瀬戸内の小さな島にある「ライオンの家」。そこは、余命を宣告された人が、最後の時間を穏やかに過ごすための特別な場所。日曜日には、人生でいちばん食べたいおやつをリクエストできる特別な時間が訪れます。

余命を告げられた主人公の雫は、たどり着いたライオンの家で思い出の味と向き合いながら、大切な人とのつながりや、生きることの意味を静かに見つめなおします。

悲しい物語なのに、出会う人や島の景色はどこまでも優しくあたたかく、雫の心が解けていく度に、自分の人生を見直せるきっかけを与えてくれます。そして、大切な人にあいたくなるはずです。(田)



何でもいからまずは書いてみよう。

『10代からの文章レッスン

みんなどうやって書いているの？』

小沼 理/編著, 安達 茉莉子/[ほか] 著

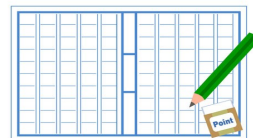
河出書房新社 2024.9

ISBN：4-309-61767-1

YA

文章を書くのは苦手と思っている人は多いのではないのでしょうか。素敵な文章に触れた時どうしたらこんな風に書けるんだろうとうらやましく思うこともありますよね。

この本では、エッセイスト、小説家、詩人、お笑い芸人など様々な分野の書き手がそれぞれの「文章の書き方」を教えてください。もちろんこの本を読んだからといって、すぐに文章が上手く書けるわけではありません。感じていることを言葉にするのは簡単なようで難しい。自分はなぜ書くのか、何を書きたいのかを究めていくことが大事なのかなと思います。自分の好きなものを人に伝えるためだったり、自分と向き合うためだったり。まずは何か書くことから始めてみては。(宮)



半世紀以上にわたる著者の半生記

『「きょうの料理」のヒミツ』

後藤 繁栄 / 著

平凡社 2006.3

ISBN：4-582-83319-5

一般

「きょうの料理」の顔といえば、著者、後藤アナウンサーかもしれない。長年この番組の司会を務める著者は、番組の歴史、制作などの秘密を緻密に記しており、会話術にも言及している。

また、著者は知る人ぞ知る「ダジャレ王」で、ダジャレ秘話も多く記している。ある時はダジャレ嫌いの視聴者の主張を真摯に受け止める紳士だが、ファンのためにダジャレをカットするわけにはいかないと葛藤する。ダジャレをスルーする先生もいれば、先生からダジャレの先制攻撃を受けることもある。穴があったら入りたい時でもめげない後藤アナウンサーである。

著者のダジャレ語録も満載のため、ファンは万歳三唱して参照したくなるであろう。ダジャレ好きな方は必読である。(大)



知らないから怖い

『となりのアブドラくん』

黒川 裕子/作 宮尾 和孝/絵

講談社 2019.11

ISBN：4-06-517574-3

児童

小学6年生の大場晴夜は、編み物が大好きなことを秘密にしています。クラスでうくのが怖いからです。ある日、パキスタンから「アブドラくん」が転校してきました。晴夜は、お世話係を任せられますが、イスラム教徒のアブドラ君は、4時間目の授業が終わったらお祈りをする、給食は食べられない等、みんなと違っていました。クラスメイトは、「アブドラくんだけずるい」と言い出し、徐々に、晴夜とアブドラくんはクラスで孤立していきます。

晴夜は、アブドラくんだけが違っているのではなく、みんなひとりひとりが違っている、お互いを知ることが大切だと考えます。アブドラくんのためにできることは？自分で考え、行動を起こす晴夜が素敵です。(安)



館長のひとりごと

夏の茶の間を賑わす甲子園の高校野球大会、敗れた選手を見るのがどうにも辛く、観戦は避けてきた。

偶然目にした2025年の決勝戦、激闘を終えた後、両チームの選手が抱き合い、互いの健闘を讃えている。

ある政治家の言葉が浮かんだ。彼女は、「民主主義は選挙によって勝者と敗者を生み出してしまうが、民主主義そのものが勝者となるためには、争う双方が品位と責任感を持たなければならない」と語っていた。

堂々と戦った後に分断や対立が生まれてはならない。勝者が傲らず、敗者が萎縮せず、平和的な共存を目指すべきだと、球児たちのノーサイド精神に教えられた。(小)



福岡市和白図書館

〒811-0213 福岡市東区和白丘1丁目22番27号

JR福工大前駅内 コミセンわじろ4F

TEL 092-608-8490

開館時間 10:00 ~ 18:00

*本の検索・ご予約*福岡市総合図書館ホームページ
(<https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>)